

【What's 類型】 参照：「令和2年度版 とっとり ICT 活用ハンドブック」 鳥取県教育委員会

今回の類型は…「C3」です。「C3」はグループでの分担、協働での作品の制作です。学習支援ツール「metamojiclassroom」を活用すればできます。この図は文部科学省の「学びのイノベーション事業」実証研究報告書を引用。

ここが
POINT

- ・グループで内容や役割を分担して活動する。
- ・デジタルデータは複製ができるので、人に提供した後でも自分の手元にもデータが残る。多様な人のデータと組み合わせて新しいものができる可能性がある。

《ICT！（いまこそ、チェックタイム）》

- 分担して活動できる学習課題を準備することができる。
- 分担作業中の活動内容に差がでない様に個別支援ができる。
- 分担作業や共同作業で得られる学びの意義について児童生徒に説明できる。

C3：協働制作



グループでの分担、協働による作品の制作

【ICT 活用実践紹介】

【花里小 ○○先生の実践】

教科：体育

活用ツール：「カメラ（動画）」

類型：B3（個別学習：思考を深める）

内容：マット運動（前転）

1. 【児童】班長がタブレットを体育館にもっていく
2. 【児童】班員の前転の様子を「カメラ」の「ビデオ」を起動させ、撮影。
3. 【児童】班でかたまり、自分たちの動画を確認。
4. 【児童】上手にできたところやうまくいかなかったところを仲間にアドバイスする。

備考：班によっては自分からスローで撮影するなどの工夫をしていた。今回は、「まっすぐ回転する」も目的だったので正面から撮影していた。児童に何を見せたか「視点」が分かるような活用が素敵です。

今回は「体育」の
実践です！



【岡田のおもいつ記】

最近「これどうやってやればいいのか？」や「今度ここでメタモジを使おうと思うけど…」などと相談を受けることが多くなりました。うれしい限りです。私自身、ICT 活用の実践をそんなに多く行っていませんし、クラスを持っているわけでもないの、先生方の実践で勉強させてもらっている状況です。ありがとうございます。いよいよ次の号で長かった【What's 類型】コーナーが最後になります。覚える必要はありませんが、知っておくといないとは意識が変わります。お楽しみに☆